

南土山地先産廃処分場建設計画



産業建設常任委員会で調査

事業者近江バランスを参考人として招致

甲賀市議会産業建設常任委員会は3月24日、土山町南土山地先で計画されている安定型産業廃棄物最終処分場建設について、事業者である近江バランス株式会社の関係者を招き、所管事務調査を行いました。市民の関心の高い問題であり、傍聴者の姿も多数ありました。

産業建設常任委員会では、事業者から建設計画の概要説明がされた後、委員（議員）より質疑がありました。凛風会の橋本恒典議員から「なぜ、この場所なのか、この地域にはすでにクリーンセンター滋賀や旧甲賀処分場がある。他の候補地はなかったのか」と質問。事業者からは「処分場に適した地形であ

水質汚染・展開検査・搬入ルートなど質問、意見が次々と

り、高速道路のアクセスも良い、長年近江バランスが事業をしてきた地域だから。他の候補地は検討していない」と説明がありました。瑞誠の会の小倉剛議員からは、「農業者へ説明がされたとのことだが、届いていない。風評被害も懸念されている。十分説明すべき」との意見がありました。日本共産党の岡田重美議員は、産廃の搬入ルートや埋立期間、埋立容量が当初の計画内容と異なっていること、県外からの産廃を9割も受け入れることになるのはなぜか、田村川での環境教育に対する小学校への聞き取りは行ったのか等について質問しました。事業者からは「計画段階で内容が変わることはある、9割というのは、大津市和邇で行っている自社の実績から紹介したもの、学校への聞き取りはこれから行う」と回答がありました。他の議員からも、「安定型3種類が守られるのが問題だ、展開検査は公表されるのか」、「展開検査は目視だけでなく機器を用いるべき」、「遮水シートを敷設することはできないのか」、「もし異常があれば、公表・説明はされるのか」、「PFASの検査はどうか」など質問や意見が出されました。また、野洲川下流域住民からは、飲み水や農業用水が心配との声が多いことから、広く説明会を持つことを求めました。産業建設常任委員会では引き続き、調査を行う予定です。

産廃建設計画 知事への「意見書」

湖南・守山・野洲市議会でも可決

南土山地先での産廃処分場建設計画については、野洲川下流の地域からも水質汚染などに対し懸念の声が寄せられています。

昨年9月、甲賀市議会から認可権者である知事に対し「慎重な審査を求める」意見書を全会一致で可決し県に提出しましたが、その後、12月には栗東市議会でも過去の栗東RD最終処分場問題をふまえた意見書が全会一致

で可決されました。3月議会では、湖南市・守山市においても全会一致で、野洲市でも賛成多数で意見書が可決されました。

いずれの意見書も、計画に対し、認可については安易に判断することなく、厳格な審査とともに、計画や審査状況、環境影響評価等について積極的かつ丁寧な情報公開を行うことを求めています。

物価高騰対策

全市民に生活応援クーポン券配布

物価高騰対策として、市内全市民に、地元の店舗で利用できるクーポン券が配布されることになりました。

- 配布対象：4月1日時点において、住民基本台帳に登録されている全市民
- クーポン券：6,000円相当
*3,000円相当クーポン券が2冊（市内店舗利用分が1冊、市内に本店を有する事業者および、甲賀市商工会員の事業所利用分が1冊）
- 発送：5月下旬から郵送開始（郵送完了は6月20日ごろを予定）
- クーポン券利用：6月1日から12月31日まで

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2026年 4月 5日 第577号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044